

### 自立できない! 家族依存症増加

結婚した娘が出産などにより実家に度々戻る状況が5年程前から増え、この2年間で2〜3倍に1年単位で増えているそうだ。

母親が夫よりも娘に愛情が注がれ、娘夫婦の生活に協力、関与する。20代、30代の娘が実家に帰り過ぎると結果、夫婦関係が疎かになってしまふと経済環境までが克服できなくなり、自主性を削ぐことになるという。

母親と娘が共に依存し、実家から帰ってこない。結果、甘やかせることで親に対する依存心も強くなり、結婚してからも精神的、経済的依存をしてしまう。結婚した娘がまた結婚した息子が実家に頼りすぎるのを程々にしないと、いつまでも家族として自立できない。時には、経済的援助

を断ち切る事も大切だ。

週の半分は娘が子供と実家で食事を摂り風呂にも入る。

夫は一人で食事に風呂では夫婦間のコミュニケーションもなくなり、やがては離婚に発展し、シングルマザー。旦那さんはバツイチで40〜50代になっても独身、一人住まいとなり、将来の大きな社会的負担の要因になる。

比較的裕福な実家で母親が健康で働ける間は問題がないが、親の資産が目減りし、親が年金生活に入り、体も不自由になると娘や息子の面倒はみられなくなる。

団塊以上の世代は 日本人はウサギ小屋で生活し、夫は家族のために長時間労働「が当たり前。日曜と盆正月以外は毎日疲労困憊で家に寝に帰るだけ。嫁は子供の教育、近所付き合いなどをこなし生活防衛に専念した。

現在は、男女とも高学歴で夫婦共に働き週休2日制。遅

くとも7時には互いに帰宅でき、高齢者も元気で経済的にも時間的にも余裕があり、子供は互いにどちらかの実家で見える家族が増えてきた。

若夫婦は親が元気な時はいが先に備え、甘える体質から脱却させ骨太夫婦へ導くことも親の役割でもある。職場の人間関係、住居費、子供の教育費、生活費、親戚と友人及び地域の付き合い、病気、貧乏生活などあらゆる苦しみと喜びを乗り越える経験こそ夫婦にとって大切なこと。

日本古来の仏教は途絶え気味で、信じる宗教も多角化した今、親が子を思い、子は親を思う心は、親元を離れ海外から日本に来て働き贅沢もせず、生まれた本国の妻、夫、兄弟、親に仕送りする美しい姿に学ぶべきこともある。

〈55歳女性・福井市〉